

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

「管理モード」と「表示モード」を使用して画像の整理や表示を終えたら、「処理モード」を使用して画像の現像と編集を行います。

1 「処理モード」で画像を開く

2 「現像サブモード」の
[調整] タブを使用する

3 「現像サブモード」の
[ディテール] タブを使用する

4 「現像サブモード」の
[ジオメトリ] タブを使用する

5 「編集サブモード」を
使用する

6 画像を保存する

7 まとめ



「現像サブモード」を使用して、画像の補正の大部分を済ませます。現像サブモードでは、非破壊編集が可能で、画像全体に変更が適用されます。

画像の一部を選択して編集するには、「編集サブモード」を使用します。編集サブモードでは、フレーム (枠) を追加したり、キズやゴミの除去、赤目の補正などを行うことができます。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

1 「処理モード」で画像を開く

2 「現像サブモード」の
[調整] タブを使用する

3 「現像サブモード」の
[ディテール] タブを使用する

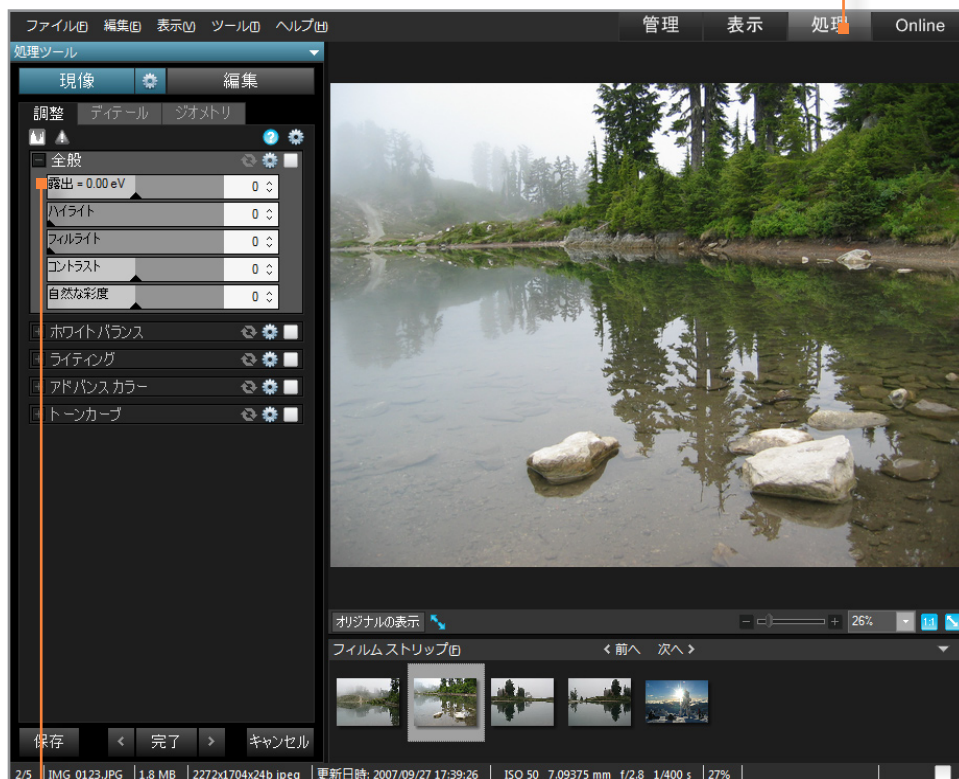
4 「現像サブモード」の
[ジオメトリ] タブを使用する

5 「編集サブモード」を
使用する

6 画像を保存する

7 まとめ

「処理モード」で画像を開くには、管理モードまたは表示モードで画像を表示してから [処理] をクリックします。



現像ツールにアクセスするには、[+] をクリックして、各ツールのグループを展開します。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

まずは、「現像サブモード」でRAW および RAW 以外のファイルフォーマットの非破壊編集をします。

「処理モード」で画像を開く

[調整] タブで、画像の調整を始めます。[全般] ツールに含まれている露出やコントラストの調整をします。

「現像サブモード」の
[調整] タブを使用する

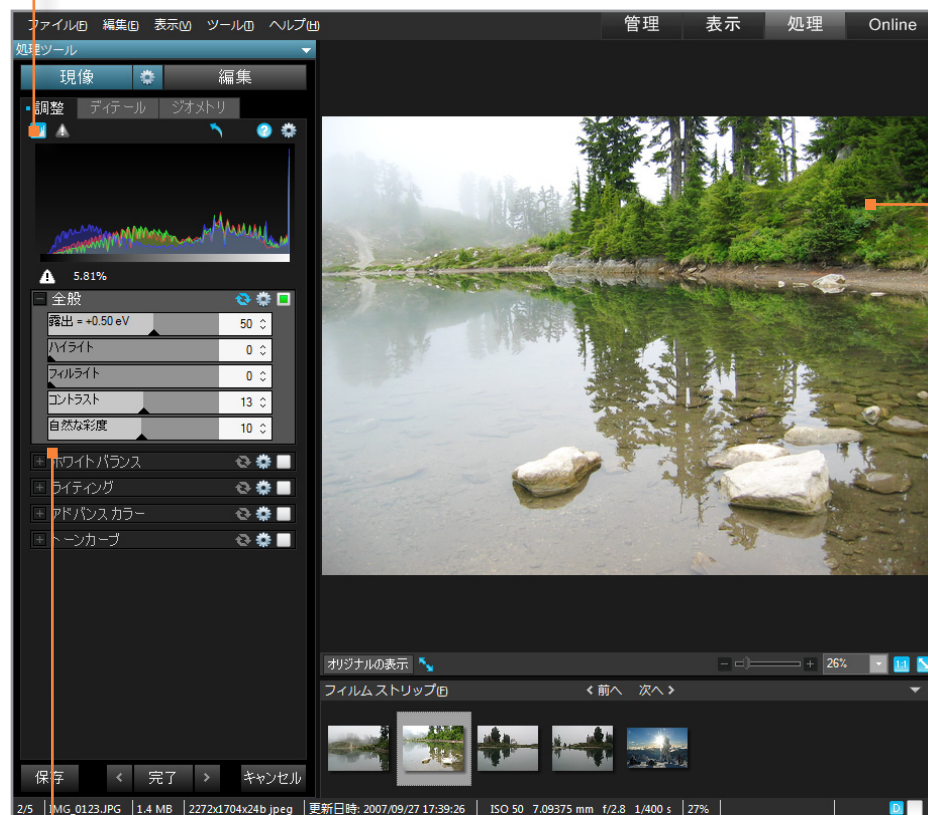
「現像サブモード」の
[ディテール] タブを使用する

「現像サブモード」の
[ジオメトリ] タブを使用する

「編集サブモード」を
使用する

画像を保存する

まとめ



[ホワイトバランス]、[ライティング]、[アドバンスカラー]、[トーンカーブ] ツールを使用して、画像の明るさやカラーを調整します。「カラープロファイル」は、RAW ファイルでのみご利用いただけるツールです。RAW 以外のファイル形式ではご利用いただけませんのでご注意ください。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

「処理モード」で画像を開く

「現像サブモード」の
[調整] タブを使用する

「現像サブモード」の
[ディテール] タブを使用する

「現像サブモード」の
[ジオメトリ] タブを使用する

「編集サブモード」を
使用する

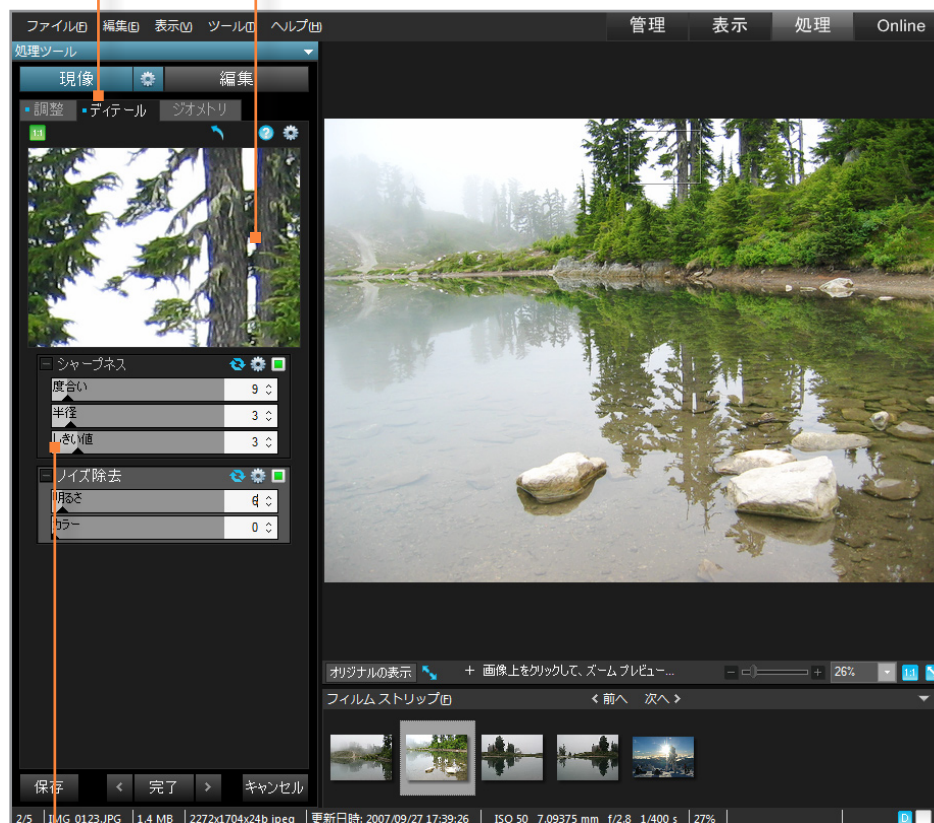
画像を保存する

まとめ

[ディテール] タブに含まれる、[シャープネス] および [ノイズ除去] ツールを使用して、画像にクラリティを調整します。

[ディテール] タブを
クリックします。

[ディテール] タブのプレビューには画像の一部が拡大表示されますので、目で確認しながら調整することができます。画像の一部を拡大表示するには、画像上で拡大表示したい部分をクリックして指定します。



[シャープネス]と[ノイズ除去] ツールの各スライダを使って調整
します。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

[ジオメトリ] タブを使用して、トリミングや回転を適用したり、傾きやレンズの補正を行います。

1 「処理モード」で画像を開く

2 「現像サブモード」の
[調整] タブを使用する

3 「現像サブモード」の
[ディテール] タブを使用する

4 「現像サブモード」の
[ジオメトリ] タブを使用する

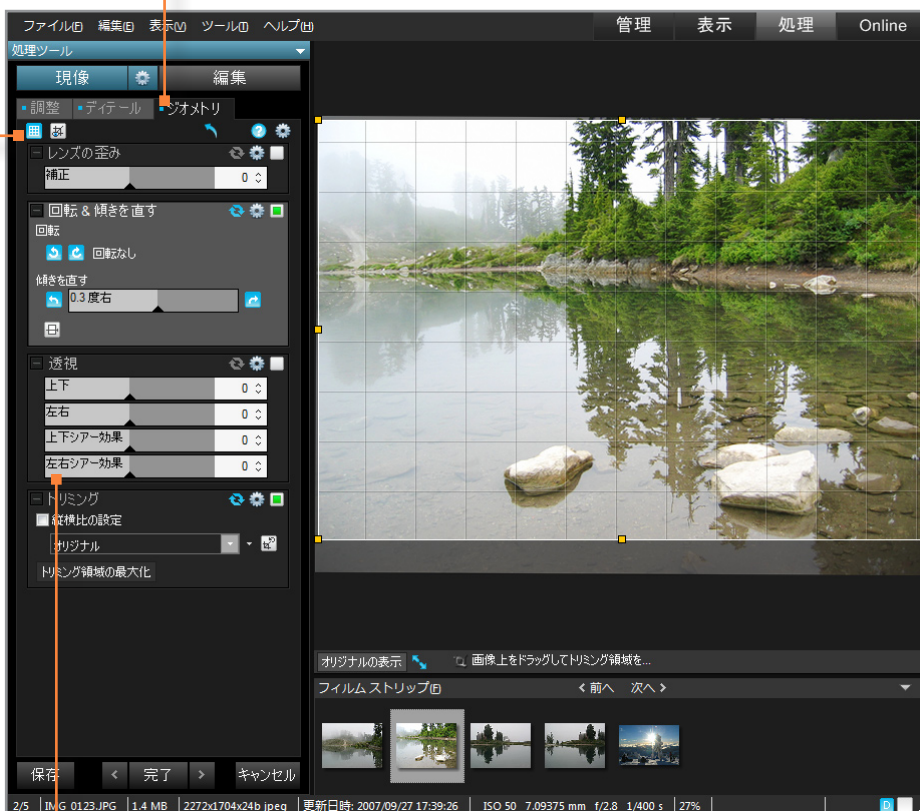
5 「編集サブモード」を
使用する

6 画像を保存する

7 まとめ

[ジオメトリ] タブをクリック
します。

[グリッド] アイコンをク
リックして、グリッドの
表示、非表示を切り替
えます。



スライダーを使用するか、または、値のボタンをクリックして画像を調整します。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

[現像サブモード] で必要な調整のほとんどを終えてから、「編集サブモード」でフレーム (枠)、テキスト、ウォーターマーク (透かし)、特殊効果などを追加して画像の最終仕上げを行います。

1 「処理モード」で画像を開く

「選択範囲」ツールを使用すれば、画像の特定部分だけに編集を適用することができます。

2 「現像サブモード」の [調整] タブを使用する

3 「現像サブモード」の [ディテール] タブを使用する

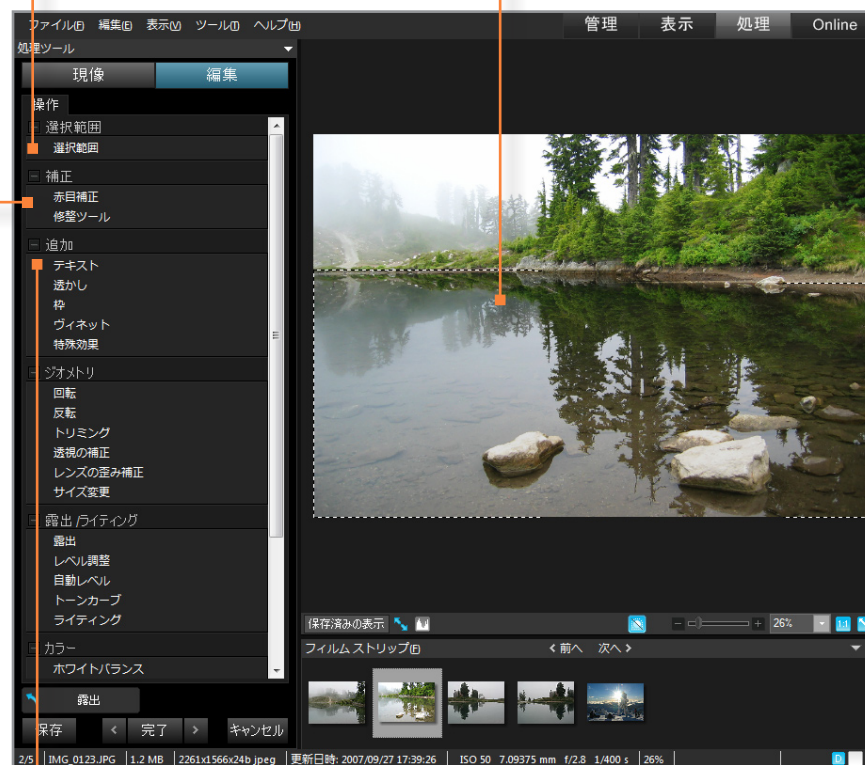
4 「現像サブモード」の [ジオメトリ] タブを使用する

5 「編集サブモード」を使用する

6 画像を保存する

7 まとめ

[補正] グループのツールを使用して、赤目を補正したり、キズやゴミの除去を行います。



[追加] グループのツールを使用して、テキスト、フレーム (枠)、ウォーターマーク (透かし)、特殊効果を追加します。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

「処理モード」で画像を開く

「現像サブモード」の
[調整] タブを使用する

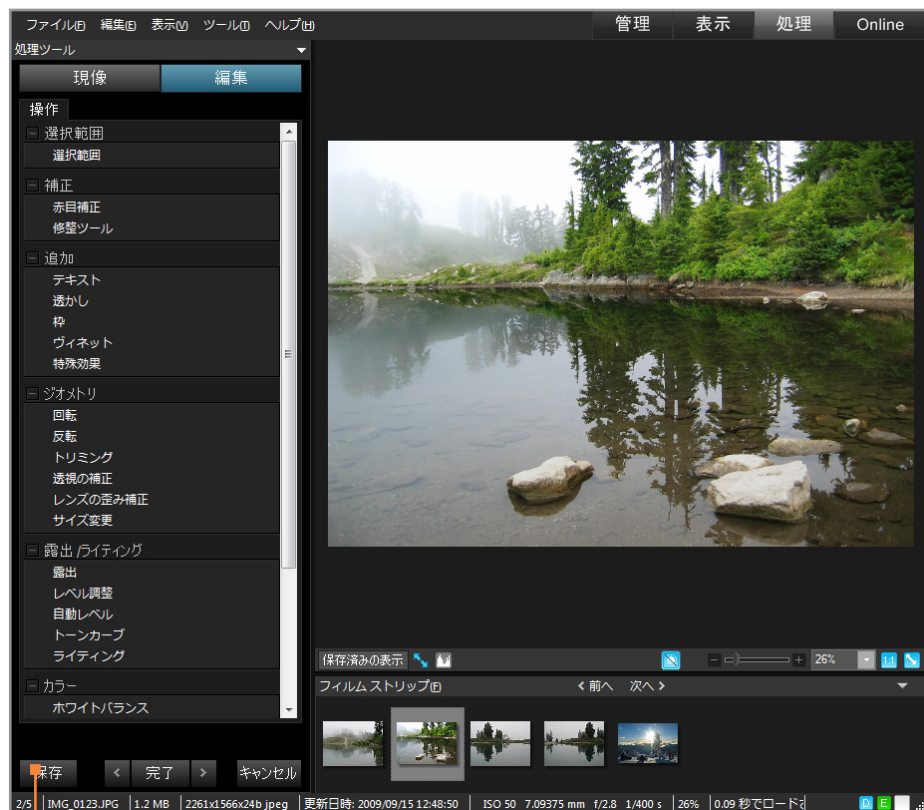
「現像サブモード」の
[ディテール] タブを使用する

「現像サブモード」の
[ジオメトリ] タブを使用する

「編集サブモード」を
使用する

画像を保存する

まとめ



「編集サブモード」で編集作業を終えたら、[保存] をクリックして次のいずれかのオプションを選択します。

- **保存:** 変更を画像に保存します。RAW ファイル フォーマットの場合、RAW ファイルに変更を直接保存することができないため、[保存] オプションを使用することはできません。RAW ファイルに変更を保存したい場合は、[名前を付けて保存] を使って別のファイル フォーマットで保存します。
- **名前を付けて保存:** 別のファイル名と ファイル フォーマットで保存します。

ACDSee Pro 3 チュートリアル: 処理モードを使用して画像を処理する

はじめに

1 「処理モード」で画像を開く

2 「現像サブモード」の
[調整] タブを使用する

3 「現像サブモード」の
[ディテール] タブを使用する

4 「現像サブモード」の
[ジオメトリ] タブを使用する

5 「編集サブモード」を
使用する

6 画像を保存する

7 まとめ

このチュートリアルでは、下記のポイントについて解説しました:

- » 「処理モード」には、画像調整ツールを含む「現像サブモード」と「編集サブモード」が搭載されています。
- » まず、「現像サブモード」を使用して、画像の調整のほとんどを済ませます。
- » [調整] タブを使用して、画像のカラー、露出、ライティングの調整をします。
- » [ディテール] タブを使用して、画像のシャープネスを調整したりノイズ除去を行います。
- » [ジオメトリ] タブを使用して、トリミングや回転を適用したり、傾きやレンズの補正を行います。
- » 「編集サブモード」では、赤目の補正をしたり、ウォーターマーク（透かし）を画像に追加したり、キズやゴミの除去を行って、画像の最終仕上げをします。